

海が青いリズムを刻んで島に押し寄せている。風にも色がついているのがはっきりと見えた。それもブルーだ。波打ち際は砕けた珊瑚のクッションになり、島の輪郭をなしている。そしてブルーが無限に変化するの、沿岸のリーフの内側だ。チカチカと光線を弾くたびに生まれては消えるブルー。同じ色は二度とない。珊瑚のうねりがデリケートな指先で島を支えていた。これがデニスがいる沖縄だ。こんなに小さな島なのに、たくさんの見えない問題が山となって大地に積まれている。

『レキオス』池上永一

こんにちは♪ 沖縄が日本復帰 50 周年を迎えましたね！ それは、沖縄がかつて日本ではなかったことを意味しています。沖縄にはたくさんの物語があります。みなさんは沖縄についてどれほどのことを知っているでしょうか？ 今号の図書館通信では、みなさんにぜひ読んでほしい沖縄の物語を紹介します。メンソーレ（いらっしやい）沖縄♪

沖縄の物語

『ヒストリア』 池上永一

沖縄から物語は始まるのに、表紙はキューバの革命家、チェ・ゲバラ！ ヒロインのバイタリティがありすぎて、沖縄だけで物語が収まらずボリビアにまで飛び出します！ 沖縄の小さな村で生まれ育った知花煉は、米軍による大空襲で虫のように殺されたかと思ったが、落ちてきた爆弾が不発弾だったために生き残った。だが村は壊滅状態で、家族すべてを失い、自身の魂を落としてしまう。地獄はそれで終わりではなかった。あんなにもこてんぱんに空襲にやられながらもなお沖縄は戦い続けさせられ、数千の軍艦に囲まれ艦砲射撃をくらってもまだ降伏を許されず、徹底的に破壊しつくされたのである。ようやく終戦を迎えた沖縄は、石器時代に戻っていた。そんな生活から抜け出そうと、煉は商売で成功するが、アメリカに睨まれ沖縄にいられなくなり、民政府が奨励する移民先のボリビアへと紛れ込む。この時点で煉は、開墾された肥沃な土地が広がる「夢の楽園」を夢見た移民者とともに、太古の原生林のジャングルと格闘することになることを知らない…。「村は戦後もずっとアメリカ軍に蹂躪されていた。私の戦争は終わっていない」。圧倒的な面白さでへろへろ。だが、ラストには沖縄の痛みを体感させます。

『テンペスト』上^{うりずん} 若^{はなふう} 夏の巻・下^{はなふう} 花^{はなふう} 嵐の巻 池上永一

「かつてここまで過激でこんなに美しい物語があったらどうか」。2冊合わせて2段組で853pものボリュームですが、ページをめくる手が止まらずあつという間に読めてしまいます！ 仲間由紀恵や GACKT から沖縄出身者が多数出演してTVドラマ化、映画化もされました。舞台は19世紀の琉球王国。焼けてしまった首里城（“竜の棲む城”）が舞台となります。逃げ出した兄の命を助けるために、美しき天才少女^{まつる}・真鶴は性を偽り、宦官^{そんねいおん}・孫寧温として、究極の官僚試験・科試を受けるが、所持していた禁書が見つかり、父がその罪を被り死罪となってしまう。父は寧温が滅びた前王朝の血をひいていることを明かし、正統性を示す勾玉のありかを告げる。寧温は最年少^{おやま}の13歳で見事試験に合格し、王宮に勤めることになり、女形となって舞う兄と再会する…。怒濤のクライマックスに継ぐクライマックス！ タイトルの「テンペスト」は嵐のことで、まさに嵐のような物語です。

『バギージマヌパナス わが島のはなし』 池上永一

「ワジワジー（ムカツク）」が口ぐせの美しい（けれど乱暴な）19才の綾乃。綾乃がくれたルイ・ヴィトンのバッグに日用品すべてを入れている（生魚まで！）86才のオバア、オージャーガンマ。フユクサラー（怠け者）でフラワー（ばか）な2人は大の仲良し。ガジュマルの樹の下で「そんなこともあるさあ」とけらけら笑っています。ところが、神様のお告げで綾乃がユタ（巫女）になるよう命ぜられたから大変。すつとぼけようとしたら神罰が下り観念する綾乃。大騒ぎしながらユタへの道を歩き出します。全編沖縄テイスト満載。底ぬけに明るいシチブーイナグーとフリンバーバー（脳ミソが70パーセントしかない女と頭のヘンな婆さん）の物語。ファンタジーノベルズ大賞受賞のデビュー作！

『黙示録』 池上永一

爛熟期を迎える18世紀前半^{クンチャー}の琉球王国。那覇ではこの数年、空が晴れずにいた。母親が天刑病になり、最下層の村からも追われた蘇了泉^{りようせん}は、芸人の一座に拾われるが、花形・金松が演技に失敗して死亡し一座も解散してしまう。盗みをして生きる了泉の前に、踊奉行の石羅吾^{おどりぶぎょう}が現れる。彼は、自分より客の目を集める了泉に嫉妬したから、金松は死んだのだと言う。了泉には人を惹きつける華があるのだと。石羅吾は了泉を舞台へと誘う。了泉が舞うと、雲が割れ、満月の明かりが大地に降り注いだ。3年ぶりに王国に月が現れたのだ。了泉は「月しろ」だった。「太陽しろ^{てだ}」である王子と対になる存在だ。舞踏家の物語。

『海をあげる』 上間陽子

「ひとつひとつの文章は静かで優しいのに、そのなかに書かれているひとつひとつの言葉が何かを叫んでいる」。Yahoo!ニュース|本屋大賞 2021 ノンフィクション本大賞ほか3賞をトリプル受賞！ 沖縄で生まれ、東京で暮らしたが沖縄に帰り、あえて普天間基地のそばで暮らすことを選択した教育学者が、辺野古の海に赤い土砂が投入され何も書けなくなったのち、ようやく言葉にできるようになった沖縄のこと、自身のこと、小さな娘との暮らし。彼女には食べものをうまく食べられなかった時期がありました。夫に恋人がいて、それが彼女の友だちだと知って、離婚に至るまでのときです。彼女はいま食いしんぼうの娘にごはんの作り方を教える日が来るのを楽しみにしています。「自分のためにごはんをつくることができるようになれば、どんなに悲しいことがあったときでも、なんとか乗り越えられる」から。現在は沖縄で若年出産をした少女たちの言葉にならない言葉を聞くことを仕事にしている彼女の語る言葉は、届くのです。「私もまた、いつか娘に海を渡すのでしょうか。その海には絶望が織り込まれていないようにと、私はそう願っています」。沖縄の夜の街の少女たちを追いかけた『裸足で逃げる』も！

『宝島』 真藤順丈

直木賞と山田風太郎賞をW受賞！ 戦果アギヤー。アメリカの倉庫や基地から物資を奪ってくる者のことだ。地元のコザでも沖縄全土でもいちばんの戦果アギヤーが、オンちゃんだった。オンちゃんはまさしく“英雄”だった。オンちゃんが二十歳になったばかりの夏の夜、かつてない大きなヤマを張った。各地の戦果アギヤーを参集させ、嘉手納空軍基地・キャンプ・カデナを襲ったのだ。オンちゃんは還ってこなかった。オンちゃんは犬死にするような男ではないはずだ。オンちゃんが唯一無二の存在である三人、グスク、レイ、ヤマコは、行方を捜すが…。

『カフーを待ちわびて』 原田マハ

いまはアート小説の第一人者として活躍する原田マハさんの、映画化もされたデビュー作！ カフーとは「果報」、「いい報せ」と「幸せ」の2つの意味です。沖縄の小さな島で独り暮らしの明青のもとに、ナイチャーのとんでもない美らさんがやってきた！ かつて北陸の遠久島を訪れたとき、心中で有名な飛泡神社で、明青は絵馬に「嫁に来ないか。幸せにします」と書いて住所と名前を添えた。なんとその言葉が本当ならお嫁さんにしてくれますかと来たのだというのだ…。やさしくてせつない純愛物語。

『キジムナーkids』 上原正三

キジムナーとは、赤い髪と大きな目をした永遠に子どもの姿のいたずらな沖縄の妖怪で、タイトルはそのキジムナーのような子どもたちという意味です。戦争が終わり、疎開先の熊本からボクは帰ってきた。故郷はまったく姿を変えていて、まるで戦場だった。ボクは土に半分埋まった鉄兜から黒髪がはみ出しているのを見てゲーゲー吐き、鉄兜に黒髪の兵隊が訪れる夢を見てうなされる。学校では、ハブジローを頭にした3人の悪童と仲よしになり、やがてガジュマルの樹のうえに板を渡して秘密基地“キジムナーハウス”をつくり、米軍から略奪する拠点とするのだった。グラマン戦闘機の機銃掃射で母と兄と右手を同時に失ったポーポー。みなが集団自決した村で生き残り、言葉をなくしたベグア。誰もが傷を負っているのに明るかった…。「見回すと、みんな大変な思いをした人ばかりだ。生きることが不思議な人だらけだ。けどなぜか明るい。悲しいから笑顔をつくるのか、嬉しいから笑顔になるのかわからない」。

『太陽の子』 灰谷健次郎

「沖縄はかなしい話ばかりやあらへんで」。ふうちゃんのお母さんとお父さんは沖縄出身で、神戸で琉球料理の店「てだのふあ（太陽の子）おきなわ亭」を営んでいます。ふうちゃんはお店に集まる沖縄の人たちを、やさしくていい人たちだなあと思っています。ふうちゃんは沖縄を誇りにしている彼らのかなしみの原因も沖縄にあることに気づきます。お父さんの心の傷の原因も。ふうちゃんは沖縄についてもっと知りたいと思います。「沖縄を知るということは、ただ沖縄を知るといだけの話やない。沖縄を知るためには、ずいぶん悲しい思いもしなくてはならないし、恐いことにも耐えなくてはならんのだ」。

『白旗の少女』 比嘉高子

白い旗を掲げて、たった一人でアメリカ軍に投降する7歳の少女。世界中で紹介されたこの写真の少女が記したのがこの本。太平洋戦争における唯一の地上戦が行われた沖縄。文字どおり本土の盾にされ10万人もの民間人が殺されました。家族とはぐれ、ガマ（自然の洞穴）からガマへと逃げまどう少女。絶望してガマごと自決をはかるような地獄絵図の中で、彼女はガマでひっそり暮らす老夫婦と出会います。おじいさんは両手両足がなく、おばあさんは目がほとんど見えません。二人に助けられた少女は…。

———ただ「行きたい場所」だった沖縄が、「知りたい場所」に。では、図書館で。